
マタイ 61
終わりに向かう
時代の希望
マタイ福音書24:1～14　オリーブ山の終末預言①
Shikaoichurch.com

終わりに向かう時代の希望

❶現在までに起きたこと

24章1～8章

❷これから起きること

24章9～14節

❸終わりに向かう時代の希望

まとめと適用

聖書　新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会　許諾番号4-1062-2



神殿・再現図

文脈の確認　神殿で最後の吟味を受けるメシア

- 過越の祭りで祭司のためにささげられる特別な子羊。
  その**吟味の期間**、メシアは神殿で**最後の論争**を受ける。

- ニサンの月の10日に、エルサレム入城。
  翌11日、宮きよめ。

- そして、12日、神殿での激しい論争が
  パリサイ派、サドカイ派、律法学者、祭司たちと勃発!!

メシアの地上生涯最後の長い一日の論争に、決着が!!

文脈の確認　決着した論争

「するとだれ一人、一言もイエスに答えられなかった。
その日から、もうだれも、あえてイエスに質問しようとはしなかった。マタイ福音書22:46」

- 論争は、メシアの完勝。
  イエスには、非難される罪は一つも見いだされなかった。
  イエスは、傷もしみもない、神の子羊。

そして、メシアから、偽善者へ厳しい裁き宣告が!!

23章のまとめ　イスラエル指導者の罪と裁き

❶律法学者、パリサイ派の偽善の罪が宣告

❷メシアを拒絶した最も重い罪が宣告

❸嘆きをもって裁きが告げられた。

➡エルサレム陥落　終末まで続く苦難

メシア自ら、イスラエルの民族的な罪と裁きを宣告



❶現在までに起きたこと　マタイ24:1～8

神殿・再現図

❶現在まで　弟子たちの感嘆　24:1

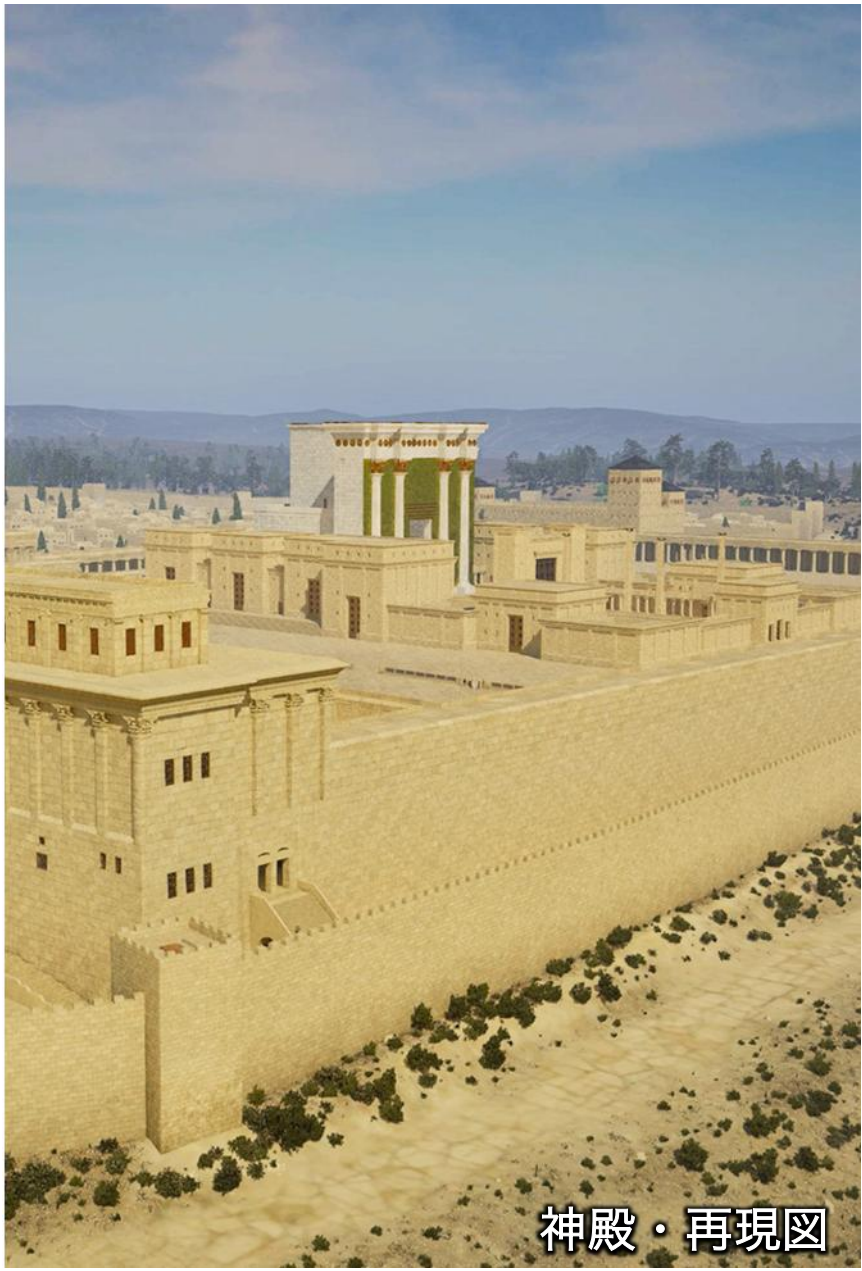
イエスが宮を出て行かれると、弟子たちが近寄って来て、イエスに向かって宮の建物*を指し示した。

＊ヘロデが大改修した第二神殿

■並行箇所　マルコ13:1

「先生、ご覧ください。なんとすばらしい石、なんとすばらしい建物でしょう。」

➡メシアの裁きの宣告を
　理解していない？！

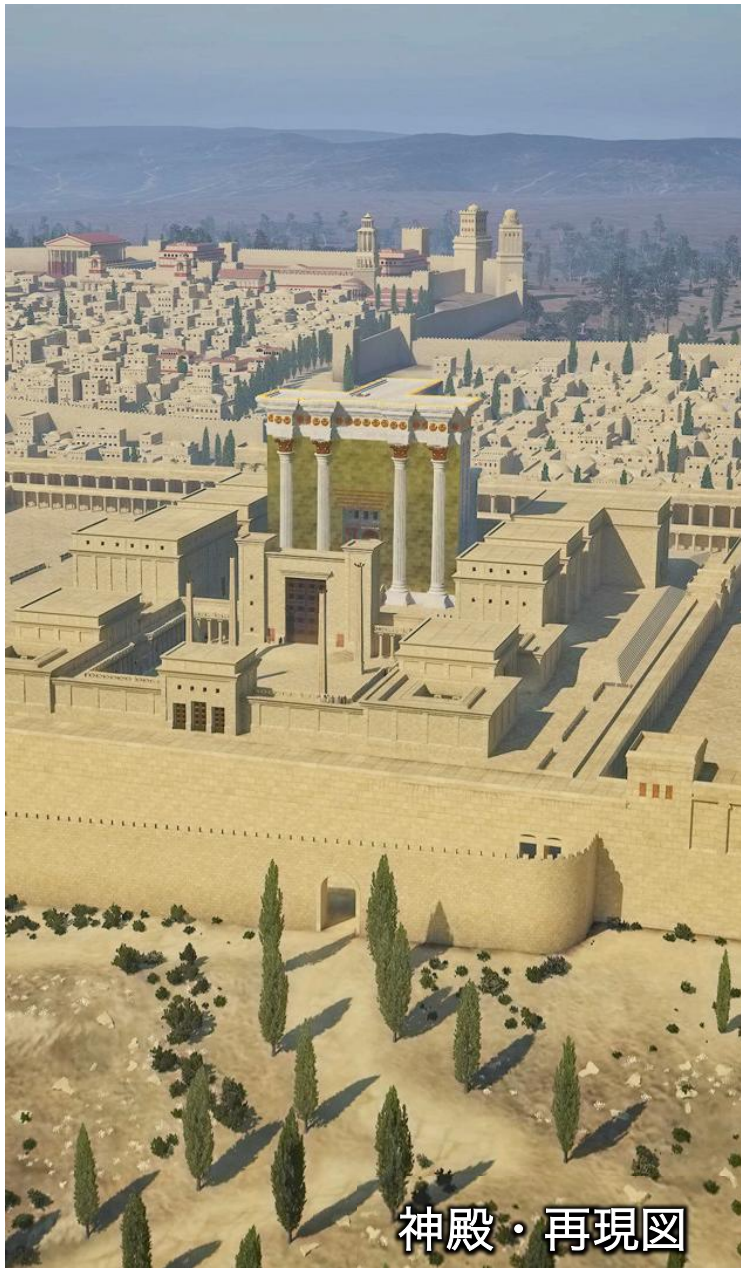

神殿・再現図

❶現在まで　神殿崩壊の預言　24:2

すると、イエスは弟子たちに言われた。
「あなたがたはこれらの物すべてを見ているのですか*。まことに、あなたがたに言います。ここで、どの石も崩されずに、ほかの石の上に残ることは決してありません*。」

＊視野の狭い弟子たちの無理解への嘆き

＊ローマによる陥落で神殿は完全に破壊
　火災で石の隙間に溶けた金をとるために。


神殿・再現図

❶現在まで　世の終わりのしるし　4:3

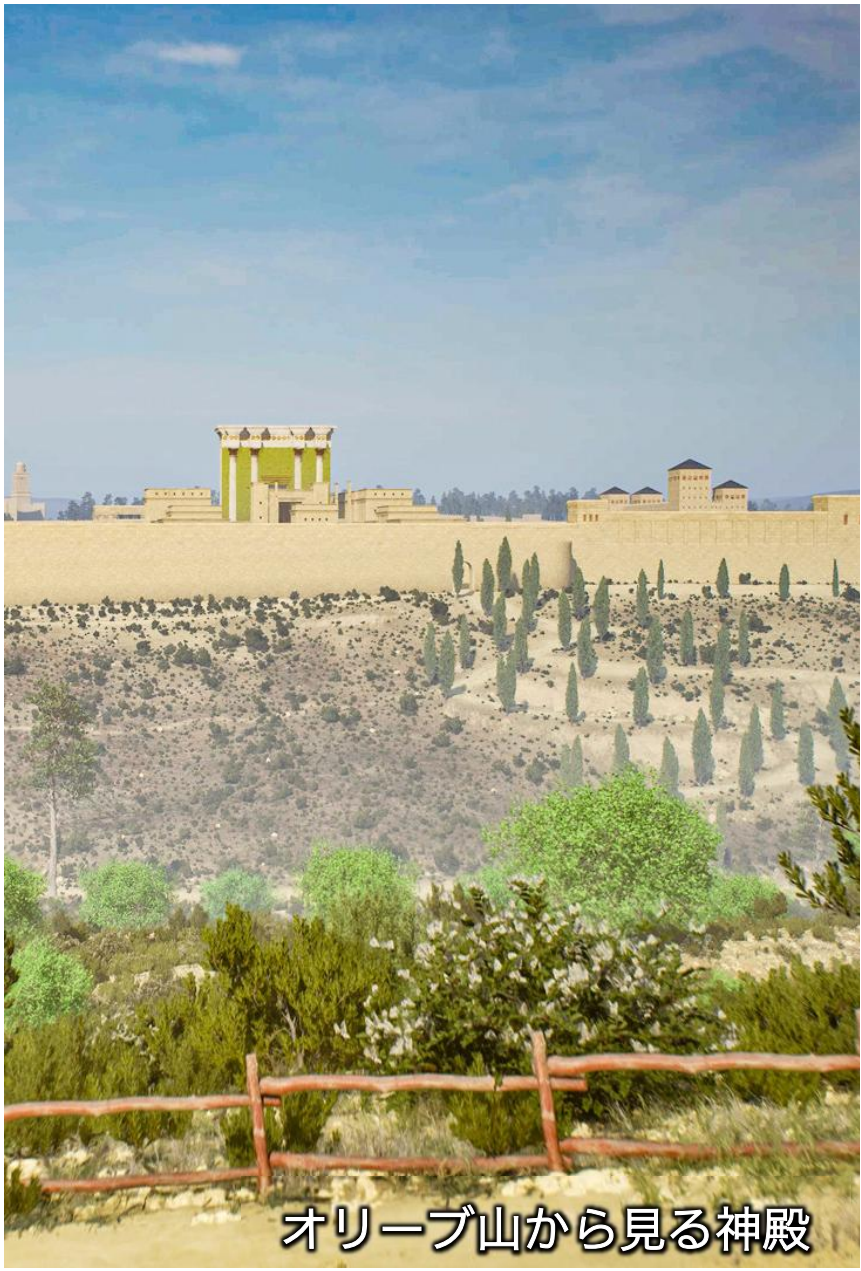
イエスがオリーブ山で座っておられると、弟子たちがひそかにみもとに来て言った。「お話しください。いつ、そのようなことが起こるのですか。あなたが来られ*、世が終わる時*のしるしは、どのようなものですか。」

＊メシアが王として来られる時

➡今かと待ちわびている弟子たち

＊終末の裁き、メシア的王国の建設

➡預言者達によって何度も預言


オリーブ山から見る神殿

❶現在まで

偽キリスト　24:4～5

そこでイエスは彼らに答えられた。「人に惑わされないように気をつけなさい。

わたしの名を名乗る者が大勢現れ*、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします。

＊世の終わりには多くの偽キリストが!

「**偽り者**とは、イエスがキリストであることを否定する者でなくてだれでしょう。御父と御子を否定する者、それが**反キリスト**です。Ⅰヨハ 2:22」



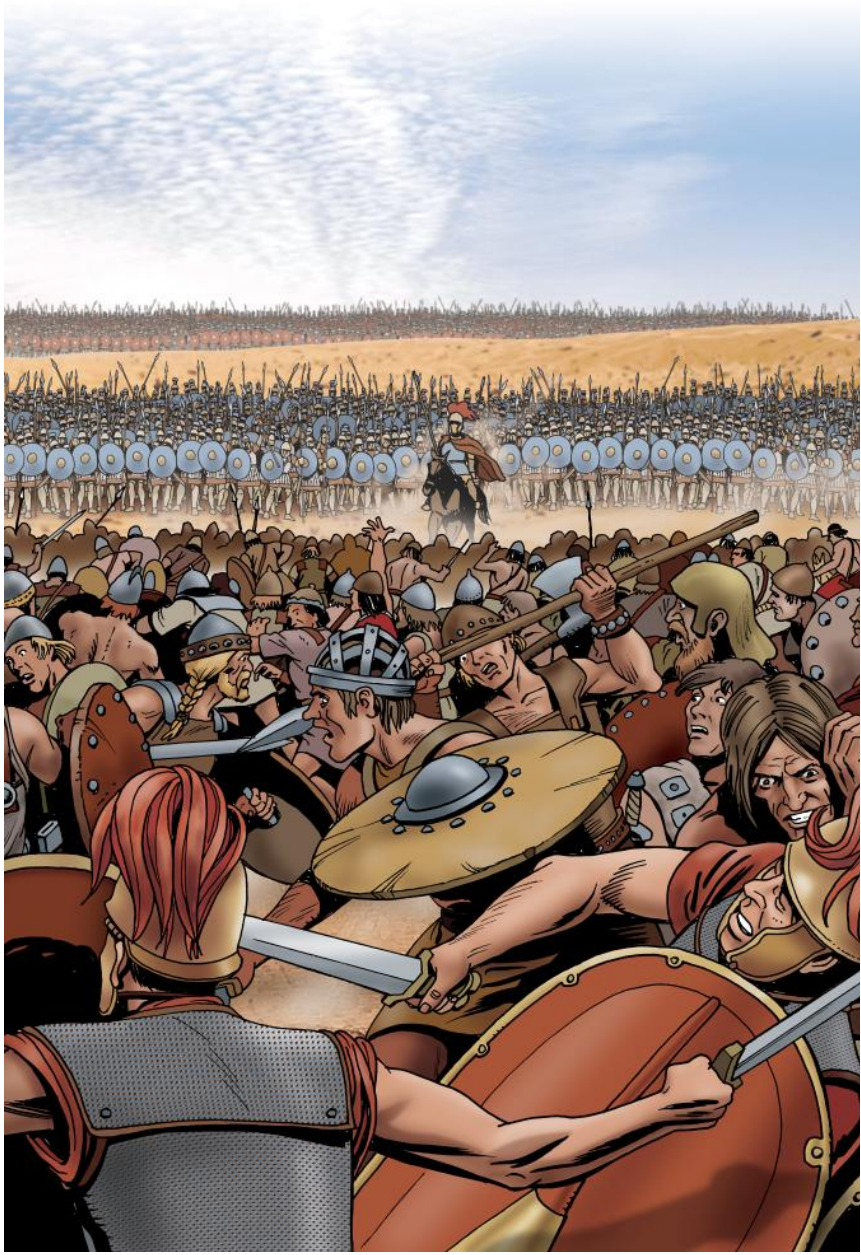
❶現在まで

戦争　マタイ24:6

また、戦争や戦争のうわさ*を聞くことになりますが、気をつけて、うろたえないようにしなさい。そういうことは必ず起こりますが、まだ終わりではありません。

＊戦争は、教会時代を通して起きること

- 当事者には、世の終わりのような戦争。
  しかし、世の終わりではない。



❶現在まで　産みの苦しみ　24:7～8

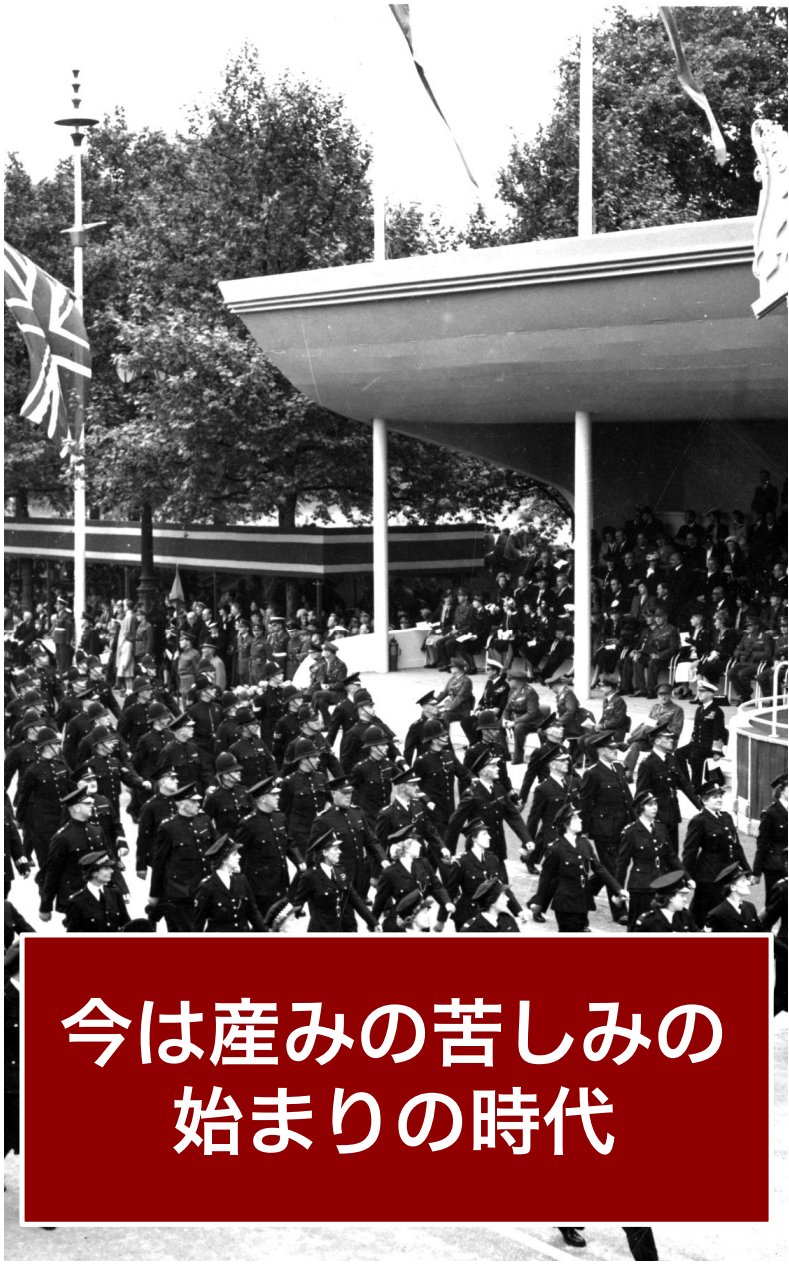
民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり*、あちこちで飢饉*と地震*が起こります。

しかし、これらはすべて産みの苦しみの始まりなのです。

＊世界規模の戦争…世界大戦はすでに

＊人為的な飢饉が…ホロドモール(ソ連)、
　中華人民共和国大飢饉

＊チリ地震(観測史上最大)他、超巨大地震。





❷これから起きること　マタイ24:9〜14

オリーブ山からみた第二神殿

❷これから　終末の大迫害　24:9

そのとき*、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。

＊預言での「そのとき」…主の日。

…大艱難時代。世の終わり。

■大艱難時代は、イスラエルの裁きの時。

多くの人が救われる一方で大迫害が!!



❷これから　憎悪と惑わし 24:10～12

そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。

また、偽預言者*が大勢現れて、多くの人を惑わします。

不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えます。

＊究極の偽預言者も出現。

…反キリストと共に世界に君臨

■世界中にはびこる争い、憎悪。



❷これから　民族的救い　24:13

しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。

- イスラエルの1/3の生き残った民が、
  民族殲滅の危機に、回心、救いへ。
- 全人類の1/3が生き残り、
  再臨のメシアに裁かれる。
  …羊と山羊の裁き
  イスラエルを守ったかどうか。



❷これから　最後の世界宣教　24:14

御国のこの福音*は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます*。

＊大艱難時代、最後の福音宣教が!!
「まもなく再臨のメシアが来られる!!」
＊14万4千人のメシアニック・ジューによる世界宣教。史上最大のリバイバル。
＊メシアの再臨、裁き、神の国の建設





まとめと適用

終わりに向かう時代の希望

まとめ　終わりの時代の　過去・現在・未来

時代		主イエスの預言	起きたこと　起きること
終わりの時代	過去	崩されずに残らない神殿 大勢の偽キリスト 戦争や戦争の噂	エルサレム陥落(70年) 偽りの教えが絶えず流布 絶え間ない人類の戦争の歴史
	現在	**産みの苦しみの始まり** 民族は民族、国は国に 飢饉と地震	二度の世界大戦 史上最悪の大飢饉、史上最大の大地震
	未来	**主の日・大艱難時代** すべての国々の憎悪 大勢の偽預言者 御国の福音 忍耐の末の救い 終わりが来る	イスラエルとクリスチャンへの大迫害 反キリスト、大バビロンの偽預言者 大宣教　大リバイバル イスラエルの民族的回心・救い メシアの再臨　千年王国

まとめ　産みの苦しみの始まりの時代に

過去からの継続

…大勢の偽キリスト　戦争と戦争のうわさ

終末から差す影

…イスラエルとクリスチャンの迫害

大勢の偽預言者

…福音宣教の前進　現れ続ける救われる人々

大艱難時代の影は、ますます濃く濃くなっていく!!

まとめ　誰も止められない神の裁き

- 定められた裁きは、時を逃さす厳粛に下される。
  - ➡メシアの預言通りの、エルサレム陥落(AD70)
- 人に、神の裁きを遅らせるすべはない。
- 世の終わりが近づくほど、世界の闇は深くなっていく。

適用　今の時代をどう考える？

例）グローバリズム VS 反グローバリズム

➡反グローバリズムの高まりで、終末が遠のく？

➡人間の働きで、神の計画を遅らせられる？

■神は、唯一で、永遠、全知全能。

➡あらゆることは主の御手の内にある

➡人間に介入の余地はない

目の前の出来事も、すべて神のご計画の内に進んでいる

適用　十の角を持った獣が示すものは？

「その頭には十本の角があり、もう一本の角が出て来て、そのために三本の角が抜け落ちた。その角には目があり、大言壮語する口があった。その角はほかの角よりも大きく見えた。ダニエル7:20」

- 十の王国の三つを支配して、反キリストが登場。
  - ➡大艱難時代には、全世界の王に!!
- 世界は、まず十の王国に向かっているのでは？
  - …十人の王・独裁者によって、世界は分割統治

適用　終末預言に対する基本的な態度

■世の終わりがいつか。誰も知らない。知らされない。

「ただし、その日、その時がいつなのかは、**だれも知りません。**天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。マタイ24:36」

■目の前のことが終末につながっているかどうか、だれにも分からない。

➡完全に起こった後でしか確認はできない。

例）現在のイスラエルは終末まで継続するか？

★　終わりに向かう時代の希望　★

- 分からないことは、分からなくていい。
  見ないで信じるのが信仰。ただ主に信頼するだけ。

- 福音宣教は前進する。信じる者は救われる。
  御国を待望し、主に遣わされる者の必要は満たされる。

「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、
これらのものはすべて、それに加えて与えられます。
マタイ福音書6:33」

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
②墓に葬られ、
③三日目に復活されたこと、を信じます。
主イエスは来られ、神の国に私たちを招き入れてくださいます。
福音宣教は前進します。信じる者が救われていきます。
主の再臨の希望の上に、私たちを遣わし、用いてください。
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」